

## 一般シンポジウムS03

### 健康から病気までを科学する薬学 Pharmaceutical Care from Health to Illness

吉山 友二<sup>1</sup>, 根岸 健一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>北里大薬, <sup>2</sup>武蔵野大薬

有吉佐和子の小説「恍惚の人」では、「生」と「死」と二つに分けられていた問題を、「生」と「死」の間に「老」という人間にとって避けることが出来ない問題があることを主題として書き上げられています。これまで、薬学も健康と病気の二つに分けて考えてきましたが、健康と病気の間には、ill-health という「病める健康」ゾーンが横たわっています。

健康と病気の間には、ill-health という「病める健康」ゾーンが横たわっています。本企画の目的は、薬学も ill-health に上手に対応するように関連知識を情報提供することにあります。演題および演者は、「糖尿病の新たな治療体系の意義 –耐糖能異常の「境界型」は病気でないと言えるか?–」(杏林大・医 石田 均)、「菌性感染症の誤嚥性肺炎に及ぼす影響と対策」(中頭病院 新里 敬)、「納得医療：その治療、あなたにとって正しいですか?」(日本医療コーディネーター協会 嵯峨崎泰子)、「後期高齢者のプライマリ・ケアにおける医薬品適正使用」(北里大薬 吉山友二)、「予防薬学を志向した保険薬局からの研究発信」(十仁薬局 野田敏宏)、「薬剤師のためのドーピング防止リファレンス」(北大病院薬剤部 笠師久美子)を予定しています。本シンポジウムでの講演内容を、ill-health を含めたファーマシューティカルケアの実践に応用することが薬学関係者の腕の見せ所と確信します。